

ほりかわ幼稚園のこども園化に係る意見交換会（11/12（土）実施）におけるご意見・回答

対象：市民の方々ほか

ほりかわ幼稚園のこども園化に係る説明の概要	
<p>秦野市では、幼児教育・保育の無償化の実施や共働き世帯の増加を背景として、保護者ニーズが教育利用から保育利用へと変化していることから、令和3年3月に「秦野市幼児教育・保育環境整備計画」を策定し、地域における教育・保育ニーズに対応するとともに、持続可能な幼児教育・保育環境の整備を進めています。</p> <p>堀川地区では、ほりかわ幼稚園の園児数が減少する一方で、保育利用は年間を通じて保留児童が発生していることから、令和7年4月1日から、ほりかわ幼稚園を『公私連携幼保連携型認定こども園』に移行します。なお、こども園化に当たり、令和6年度に民間法人による施設整備が必要なことから、令和6年度は堀川小学校の教室等を活用し、ほりかわ幼稚園を運営します。</p>	
<p>◆認定こども園の概要◆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設類型 公私連携幼保連携型認定こども園 ・開園時期 令和7年4月1日 ・対象児童 0歳から5歳 ・定員 教育利用 60人 保育利用 50人 ・運営法人 社会福祉法人又は学校法人 ・運営条件 統合教育・統合保育の実施、給食の提供、延長保育事業や一時預かり事業の実施など 	

【意見交換会でのご意見への回答】

【運営法人等に関するご意見、ご要望等】

	ご意見	回答
1	何故、公私連携幼保連携型認定こども園としていくのか。	保護者ニーズが教育利用から保育利用へと変化していることに加え、教育利用の園児数が減る中、教育利用と保育利用のお子様が入る施設とし、同じクラスの中に教育利用と保育利用が一緒に活動することで、教育上必要な集団性の確保を図っていく必要があると判断したためです。
2	公立で運営するのではなく、公私連携としたのは何故か。	公営、民営及び公私連携での運営など、さまざまな手法がある中、みなみがおか幼稚園での実例もあり、質の維持を図ることができていること、また、時間や費用面などを勘案し、検討を進めた結果、市が運営に一定程度関与することができる公私連携が最も効果的であると判断しました。

3	公私連携幼保連携型認定こども園となると、設置者と運営者は誰になるのか。市の位置づけはどのようになるのか。	制度上、設置者及び運営者になることができるのは、社会福祉法人又は学校法人になります。市の関わりは、市と運営法人の間で、市の意向を踏まえた教育・保育に関する基本的事項を定めた協定を結びます。協定の中では、市が一定程度の監督権を持つため、関わりを継続して持つことができることとなります。
4	施設は、無償貸し付けになるのか。	みなみがおか幼稚園が移行した時と同様に、建物は無償譲渡で、土地は有償貸付とすることを考えています。
5	令和7年度に向けた移行期間は考えているのか。	みなみがおか幼稚園が移行した時も実施しましたが、引き継ぎ保育の実施を予定しています。令和6年度に、公立の先生が園運営をしているところに、新しい法人の先生に入っていただき、園児が先生に慣れていただくとともに、公立の園運営を実際に見ていただく機会としています。
6	設置者選定のスケジュールはどのようか。	令和5年5月末頃に選定する予定で考えています。
7	令和7年4月に新しい運営法人への移行に向けて、保護者も不安があると思うので、今後のスケジュールや運営法人の方針などについて、市が丁寧に説明する必要があると考えている。	今回の意見交換会の前に、在園児、未就園児及び小学校の保護者の方と意見交換を行うとともに、堀川小学校の図工室を実際に御覧いただく機会等もつくりました。また、今後のスケジュールや引き継ぎ保育等の実施についても同様の御意見もいただいたため、御説明させていただいています。今後も詳細が決まり次第、丁寧に対応していきたいと考えています。
8	宗教的な法人が入ることはあるのか。	みなみがおか幼稚園が移行した時と同様に、特定の宗教的行為を行う法人の応募については、ご遠慮いただくことを考えています。
9	保育利用の増加を見込んでいるとのことだが、現在の保育定員から、今後、変更になることはあるのか。	今後のニーズの状況によっては、運営法人と協議の上、時代にあった定員設定に変えていく可能性もあります。
ご意見、ご要望等		
10	公立のまま移行してほしい。	
11	私立は、私立の良いところがあるので、公私が連携することによって、私立のメリットがなくなるのではないかと考える。	

【堀川小学校での園運営等に関するご意見、ご要望等】

	ご意見	回答
13	令和6年度の園運営について、図工室を活用した場合、図工室は、どこに移すのか。また、令和7年度に園舎に移った後、使っていた保育室はどうなるのか。	令和6年度は、図工室を別の場所に移すことで、学校側と検討を進めています。7年度以降は、図工室を元に戻すことや、学校側が使いやすい部屋の配置など、7年度以降の教室の配置も踏まえた整備を学校側と協議しながら、進めていきたいと考えています。
14	幼児用のトイレは、どのように考えているのか。	トイレは、通常の大人用と子ども用（床からの高さが33cm）があります。現在、幼稚園で使用しているものは、高さが28cmですので子ども用利用は、影響が少ないと考えています。大人用トイレについては、幼児用のはめ込み式の便座の設置と踏み台の用意を検討しています。

【全般】

	ご意見	回答
15	資料の2ページにある「堀川地区の入所状況」の定員等について、0歳から5歳の数字の見方がわかりづらい。	定員について、ほりかわ幼稚園の園区内にあるすべての保育所の定員を足した数字になります。各年齢の4月1日現在の入所者数を表にまとめてあり、アンダーラインは、定員を超えて受け入れを行っている人数となります。この表は、現状において、定員を超えて受け入れていることを表しています。
16	現在、在籍している幼稚園の先生は、市の他の園に配置換えになるのか。	そのとおりです。